

報道関係各位

2024年5月13日

## 風力発電機のブレードを遠隔で安全に点検 「パイプクローラー A-150S」レンタル開始

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下アクティオ)は、風力発電機のブレード部分を遠隔で安全に点検ができる「パイプクローラー A-150S」のレンタルを2024年5月13日(月)から開始いたします。



世界的に風力発電は再生可能エネルギーの主力とされており、日本国内での風力発電機は2023年時点で2,626基(累積導入量:521.3万kW)<sup>※1</sup>が建設されています。また、洋上風力についても政府は、2030年までに1,000万kW、2040年までに3,000~4,500万kWの洋上風力発電を導入することを目標<sup>※2</sup>に掲げています。急増する風力発電機本体の保守やメンテナンスは喫緊の課題であり、今後、需要が益々増大していくことが予想されます。

一般的にブレード内部の点検は2~3年に1回と定められており、現在の主な点検方法は作業員による目視検査です。ブレード内部は天井が低く、狭いうえ作業員がほふく前進で行うため、危険な作業が数週間から数ヵ月におよぶこともあります。高所で狭い空間での作業を強いられており、現状、多数の事故が発生しています。

今回の「パイプクローラー A-150S」は、風力発電機のブレード部分を遠隔で安全に点検できる、ハンドリング性に優れた軽量の点検機械です。陽極酸化アルミニウム<sup>※3</sup>とステンレス鋼による非常に堅牢な車両構造で磁場の影響を受けやすい環境でも運用可能です。

アクティオは今後も「レンタルティンギ」のノウハウを活かし、安全性や生産性を向上させる製品やサービスを提供していきます。

※1 出典:一般社団法人 日本風力発電協会 Japan Wind Power Association(JWPA)

※2 出典:洋上風力の産業競争力強化に向けた官民協議会 洋上風力産業ビジョン(第1次)

※3 表面を電解処理したアルミニウム

## ■「パイプクローラー A-150S」特長

- ①遠隔操作で安全に作業が可能
- ②ハンドリング性に優れた軽量の点検機械
- ③陽極酸化アルミニウムとステンレス鋼による堅牢な車両構造

## ■「パイプクローラー A-150S」スペック

バッテリー		内蔵バッテリー(最大 8 時間駆動)
対応パイプ直径	(mm)	150~600
耐浸水性	(m)	水深 50
カメラ		1,080p(フル HD)パン/チルト/ズーム※光学 10 倍、デジタル 120 倍
カメラ用アーム		モーター駆動昇降アーム
照明		LED 照明
ケーブル長	(m)	200(手動リール付属)
質量	(kg)	15~(オプションのタイヤ径による)

## ■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』(算数とハートの経営 2014 年 幻冬舎)。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使う

のか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

## ■本商品に関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 産業機械事業部

TEL:03-6854-1416